



教育目標

「心豊かですこやかに力いっぱい遊ぶこどもを育てる」

重点研究テーマ

意欲にあふれ 感性豊かで 心身の伸びやかな子どもをめざして

河原城中学校校区のめざす幼児像

あ...明るく元気な子	や...やさしい子	み...見通しをもった子
す...自分が好きと思える子	さ...支え合える子	え...選び・学ぶ子
が...頑張り・やりきる子	し...人を信頼できる子	る...ルールを守れる子
	く...工夫しながら行動できる子	



本園の課題及び展望

- ◆ 家庭環境や生活経験の差が大きく、園児の一人ひとりの発達の特性に応じたきめ細やかな指導の必要がある。
- ◆ 保護者や子どもが初めての園生活を安心して過ごせるよう子育てや保護者を支援するためのきっかけづくりをする。
- ◆ 幼児期のいろいろな感動体験、様々な人との関わりを通して、豊かな心の育成につなげる。
- ◆ 自尊感情（自分・友達・人が好き）を育み、心の安定を図る。
- ◆ 教職員の資質向上に努め、園児一人ひとりの発達課題を明確にする。
 - ・ 支援を必要とする幼児についての支援のあり方
 - ・ 遊びの中で学び合える環境づくりや支援のあり方
- ◆ 遊びの中で学び合えるために、キャリア教育の視点においても捉えていく。
- ◆ 中学校区の教職員が、めざす子ども像を共通認識する。

学力向上のための園方針

- 生きる力の基礎を育む
- 豊かな心を育む
 - ・ 興味、関心、意欲を高める
 - ・ コミュニケーション力を身につける
- 生活リズムを整え、主体的に遊ぶ力を育てる
- 協力、協調性、社会性などの道徳性の育成
- 聞く、話す、考える態度を身につける
- さまざまな人との出会いや触れ合いを大切にし、信頼関係を築く
- 家庭との連携をとり、共有の支援をおこなう
- 幼小中連携を工夫し学びに向かう力を育てる

幼児期の終わりまでに育てほしい姿

- 健康な心と体 ○自立心 ○協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活とのかかわり ○思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

学力向上のための具体的取り組み

健康

- ・ 先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する
- ・ いろいろな遊びの中で十分に体を動かす
- ・ 健康な生活のリズムを身に付ける

人間関係

- ・ 友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。
- ・ 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気づく
- ・ よいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動する
- ・ 友達との関わりを深め、思いやりの心をもつ
- ・ 自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ

環境

- ・ 自然に触れて生活し、大きさや美しさ、不思議さなどに気づく
- ・ 生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ
- ・ 自然などの身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ
- ・ 身近な物や遊具に興味をもって関わり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ

言葉

- ・ 見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する
- ・ 人の話を注意して聞き、相手にわかるように話す
- ・ 生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く
- ・ いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする

表現

- ・ 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする
- ・ 様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう
- ・ 感じたこと、考えたことなどを音や動きで表現したり、自由にかいたりつくったりする。

♡毎日の遊びが学びの基礎となるように計画をたて、評価、振り返りを全職員で行う。
♡保護者、地域、幼稚園が連携を密にし、手を取り合いながら子供を育てる。

